

2021年1月28日

福島県知事 内堀雅雄 様

日本共産党福島県議団  
団 長 神山 悦子  
副団長 宮川えみ子  
幹事長 宮本しづえ  
副幹事長 大橋 沙織  
政調会長 吉田 英策

## 南会津町高齢者施設での県内最大クラスター発生を 踏まえた緊急申し入れ

南会津町では高齢者施設でのクラスターが相次いでおり、県立南会津病院でも陽性者が確認され、休診となっています。特別養護老人ホーム「田島ホーム」のクラスターは61人、県内最大のクラスターとなり、61人の内訳は嘱託医1人、職員17人、利用者43人ですが、このうち26日に判明した11人を含む49人は最初の検査で陰性だったと報道されています。偽陰性の一般的確率からしても異常に高い確率で、多くの方が陰性確認後、濃厚接触者ではなく「接触者」とされ、一定期間の隔離・保護がなされていなかったのではとの指摘もあります。検査方法や「接触者」への対応がどうだったのか検証が必要であり、これ以上の感染拡大を食い止めるためには、思い切った対策が必要と考えます。

県が確保できるとする469床の病床利用率は56.1%、即応病床利用率で言えば75.6%、依然として病床逼迫の状況が続いています。

今必要なことは、集団感染リスクの高い医療機関・高齢者施設の職員・入所者等へのPCR検査を実施すること、旧田島町全域を対象とした面的なPCR検査を実施し、無症状者を含めた陽性者を早期に発見、隔離・保護することです。

よって、緊急に以下の点について申し入れます。

### 記

- 1、南会津町の医療施設・介護施設の職員・利用者、出入り業者のPCR検査を直ちに実施すること。さらに県内すべての医療施設・介護施設の職員・利用者、出入り業者のPCR検査を実施すること。
- 2、南会津町全域を対象に、少なくとも旧田島町の全住民を対象に、直ちにPCR検査を実施すること。
- 3、南会津町での面的検査を実施するため、南会津町を支援するとともに、そのために必要な県職員の派遣を急ぎ行うこと。
- 4、濃厚接触者の定義を抜本的に見直し、無症状者の発見、隔離・保護する対象を広げること。

以上